

住みよさ実感
瀬戸内交流文化都市 たけはら

特集

竹原で働く若者達



働きやすい、住みやすい
環境です



久保 歩美さん



寄能 梨恵さん



岡本 浩江さん

賀茂川保育所には、就職を機に竹原に戻ってきた3人の若い保育士さんがいます。久保歩美さん（23歳）、寄能梨恵さん（23歳）、岡本浩江さん（24歳）の3人です。久保さんは、子どもが好きという理由から、保育士を目指し、憧れの都会だった千葉県内の短期大学に進学しました。しかし、在学中から、「実

家に戻り、人が多くも少なくもない、住みやすい竹原で生活をしたい」という思いが募り、竹原での就職を決めたそうです。

保育所で働き始めて2年目の現在、2歳の子どもを保育し、毎日楽しく働いている久保さん。共に働く人達とも良い関係を築いていて働きやすい環境だそうです。

「今後も保育所で元気に働いていきたいです。」と笑顔で話してくれました。

寄能さんは、高校在学中に、選択科目として保育所での実習を経験したことがあります。それが保育士への道を選択する大きなきっかけになったそうです。

また、保育所周辺の環境について、

「自然がいっぱいで、散歩コースも豊かなんです。」

と教えてくれました。

子ども達の成長を間近で見られることにより、今日も子ども達の保育に携わります。

岡本さんは、安心して働く地元で働きたいと

いう思いから、卒業後、竹原に戻ってきました。

「保護者さんとの信頼関係を築くことや、子どもの成長段階を理解して保育することは難しいけれど、がんばりたい。」と話す岡本さん。竹原での生活についても話してくれました。

「近所の人とコミュニケーションをとったり、地域活動に参加することもあつたりと、竹原の温かさにふれる機会があるんです。」

三人とも、充実した日々を送られているようです。



「竹原に買いに行きたい」と思われるぶどうを作りたい



貞森 雅之さん

貞森雅之さん(37歳)は、竹原町でぶどう農園を営んでいます。

7年前まで市内で内装業の仕事をしていましたが、ぶどうを買った人の喜ぶ姿に作り手としてのやりがいを感じて、農業を始められました。

農園をされていたご両親からの影響もあったそうですが、ぶどうの品種が増え、生活していくための収入が見込めたことも大きなきっかけになったそうです。

農業は天候に左右されやすく、体力的にも厳しい仕事です。その上、ぶどうは手間もかかるため、多くの苦勞があります。実際に現在、農業をする人は減りつつあり、特に若くして農業を仕事にされている人はまれです。しかし、貞森さんのように人々の「食」

を支えることに魅力を感じ、農業を行っている人もいます。

貞森さんは、

「農作業は厳しいけど、おいしいものを食べてもらいたいというやりがいがあります。と力強く語ってくれました。

そして、「竹原に買いに行きたいと思われるぶどうを作りたい」という今後に向けた思いも語ってくれた貞森さん。

体力が続く限り、生まれ育った自然豊かな竹原で、ぶどうを作り続けたいそうです。



利用されている方の笑顔が励みになっています



森近 亜美さん

高齢化社会の現在、高齢者支援を行う福祉サービスへのニーズは高まっています。実際、港町にある社会福祉法人の場でも、若い人の働く姿が見られます。

その一人である森近亜美さん(22歳)は、軽費老人ホームコーポまとはでケアワーカーとして働いています。森近さんは、山口県内の大学に進学し、この春、住みなれた地元、竹原にUターン就職しました。

仕事内容は、利用される方が健康で快適な生活を送ることができるよう、施設内の環境を整え、一人ひとりの生活状況に合った支援を行うことです。また、年間を通して様々な行事を行ったり、利用される方が季節を感じることできるよう、一緒に花を育てたりしています。

軽費老人ホームでは、コミュニケーションをとって精神的なサポートをすることも重要になります。森近さんは、「自分より人生経験豊かな目上の人への精神的サポートは難しいけれど、勉強していきたいです。」

と話してくれました。「利用されている方の笑顔が励みになっています。」

と話す森近さん。今後の目標を尋ねると、「成長したいです。社会人として、また人として当たり前前のことや当たり前前になるようにしたいです。」

と真剣な眼差しで答えてくれました。



第一回就職ガイダンス

平成21年度雇用対策事業として、就職ガイダンスを開催します。

日時 7月21日(火)

13時30分～16時

場所 たけはら美術館

文化創造ホール

対象

①現在求職活動中の人

②平成22年3月に大学・短大・専門学校等を卒業予定の人

市内事業所の人事担当者から直接、企業説明、面接を受けることができます。参加企業も随時募集中です。詳しくは市のホームページを。

緊急求人説明会を開催しました

3月30日、たけはら美術館文化創造ホールにて、緊急求人説明会を開催したところ、市内22事業所が参加し、137人が来場しました。

緊急開催にもかかわらず、14人の方が採用され、職に就かれています。

問い合わせ

雇用対策協議会事務局

(産業文化課商工振興係内)

☎ 22-7745